



和宏のほっとかない!! NEWS vol.59

継続こそ力なり



八潮市議会議員 あさだ和宏 (47歳)

無所属・自民クラブ

●1968年 3月28日 八潮市に生まれる●市立大瀬小(八小)大原中(二中)を卒業●私立成立学園(商業科)を卒業

●専修大学 法学部法律学科卒業(40歳を機に大学へ入学、働きながら4年間通学し、2012年卒業)

★01年9月(33歳)1229票12位当選 ★05年9月(37歳)1415票9位当選(2期目)

★09年9月(41歳)1733票3位当選(3期目) ★13年9月(45歳)2164票3位当選(4期目)

【市議会での所属】副議長・議会報編集委員会委員・福祉環境常任委員会委員

【発行者】

〒340-0821 埼玉県八潮市伊勢野 306 TEL.090-3402-6388(本人直通)

あさだ和宏を育てる会

http://challenge-kazuhiro.com/ E-mail: asayan@biscuit.ocn.ne.jp

Find us on Facebook

あさだ和宏

検索

2016年 謹んで新春のご挨拶を申し上げます

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中は、皆様から変わらぬご支援、ご指導を賜り、市議会議員として活動し、さらに八潮市議会副議長として「2年目」を迎え、貴重な経験をさせていただいた一年でもありました。お陰さまで、元気に活動をし、働かせて戴いておりますこと、心より御礼申し上げます。

さて、昨年は、戦後70年という「節目」の年を迎え、国内では、「安全保障関連法案」の成立等、国際社会における、わが国のあり方について重大な岐路に立たされているような気が致します。

そして、自然災害が国内各地で発生した一年ともなりました。

特に9月に発生した「関東・東北豪雨災害」では、本市でも、一部地域において、初の「避難勧告」が発令される事態となりました。私自身、身近な地域で発生した甚大な自然災害を、目のあたりにして、改めて、日頃からの「訓練」「備え」が重要であると感じました。

今年の干支は「申」(60年ぶりの「丙申」)



申という字は「申く」(うめく)という意味もあり、「果実が成熟し、固まっていく状態」を表しています。また、干支でいえば、「物事が明らかになり、栄える」等の意味があります。

この事を、私なりに解釈すると、「今まで評価されなかったことが評価される」「これまで気付かなかったことに気付く」と理解しています。

2016年 今まで頑張ってきた人の「努力」が「かたち」になり、繁栄し伸びていく年でありたいと思っております。

今年も、皆様にとりまして、いやさかな一年になりますよう、ご祈念申し上げます。



初日の出・新中川橋から撮影

八潮市議会議員 あさだ和宏

平成28年「議会報告会」「議員を囲む集い」開催のご案内

○日時 平成28年 3月 5日(土曜日)

午後6時30分～(受付開始 6時15分～)

○場所 八潮メセナ・2F 集会室

○会費 2,000円(飲食代)

※当日は、酒類のご用意もございます。飲酒をされる方、お車でのご来場はご遠慮下さい。

※参加ご希望の方は、2月29日までに、返信用のハガキ、または、電話にて、ご連絡をお願いいたします。

○連絡先 朝田 090-3402-6388

今年も、大勢の方から年賀状をいただきました。ありがとうございます。公選法により、議員よりの年賀状は禁止(自筆は除く)されておりますので、ご理解ください。

昨年8月からスタートした「やさしお毎日二万歩運動」。当初は「一万歩も歩けるかな」と不安でしたが、最近では「二万歩」を越える日もあります。おかげで体重も順調に減少しています。

「自転車の安全な利用の促進に関する条例」が4月から施行されます！

自転車は地球環境にもやさしく、健康増進にも役立つ手軽で身近な交通手段として、子供から高齢者まで幅広い年齢層の方に利用されています。

しかし、自転車は、運転免許証が不要なことから、交通ルールやマナーが守られず、自転車の利用者が交通事故に巻き込まれる、あるいは、自転車利用者が歩行者などを負傷させてしまうケースが増えています。また、交通事故の加害者が多額の損害賠償責任を負うケースもあり、自転車利用者の交通ルールの遵守とマナーの向上が重要な課題となっています。

さて、このような中、本市では、平坦な地形などから、自転車の利用が多い状況にある一方で、自転車が安全に走行できる道路環境が十分に整備されていないという側面があります。

また、自転車による交通事故死傷者数は、平成24年が212人、平成25年が210人、平成26年が195人と少しずつ減少していますが、**人口1万人当たりの自転車による交通事故死傷者数が、埼玉県内市町村の中で、平成24年、平成25年、平成26年と三年連続、ワースト1位という非常に憂慮すべき事態が続いています。**



このようなことから、本議会（12月議会）に同条例が提案され、可決しました。

これにより、市、市民、自転車利用者などの責任と役割を明確化、それぞれが協力、連携し、自転車事故が減少することを目指します。

（福祉環境常任委員会で審議し、同議案に対して、「条例制定後、車道の整備等、**しっかりと財源を確保するように**」提言を交えて「賛成討論」を行いました）

中川新堤建設に伴う、大瀬運動公園（サッカー場・ソフトボール場等）の移転（方針）が決定しました！

大瀬運動公園 現況図



担当課の話では、「公式試合」が開催出来るサッカー場を先行整備し、平成29年6月頃から利用開始（予定）。ソフトボール場等は、平成30年4月以降、利用開始（予定）との事です。

大瀬運動公園内にあるサッカー場利用者の方から、問い合わせの多かった、新堤建設に伴うサッカー場等の整備計画、過日、国交省と市との間での協議が行われ、基本的な合意内容が決定しました。

中川河川敷包括占用区域図



4月から、「ごみカレンダー」の様式が変わります！

以前から、市民の方から「分かりづらい」等のご意見をいただいていた本市の「ごみカレンダー」今年の4月から、A4判両面印刷で、全16ページからなる「月めくり式」へと変更されます。

説明では、その日がごみの収集日か否か、さらに、ごみの分別方法や出し方について、イラストを使い、分かり易く、表記するとのことでした。

私も、この件に関して、何度となく、委員会等で、改善するように要望した経緯もあり、出来上がりが楽しみです。



（写真は、草加市のごみカレンダー）

今年も各種団体等の新年会に、議長代理として出席させていただいております。その際、参加者の方から市政や議会に関して様々なご意見を聴く機会があります。皆様の「声」をしっかりと市政へと繋げております。



活動報告

◎あさだ和宏を育てる会・日帰り親睦バス旅行 in 栃木

昨年9月6日、栃木方面に、恒例のあさだ和宏を育てる会主催、日帰りバス旅行に行っていました。お天気にも恵まれ、総勢90名バス2台の旅で、旅のメインは梨狩りです。1台ずつバスを周り、今回も皆様と色々なお話を楽しくさせていただいた旅行となりました。



ご参加いただきました皆様、有難うございました。

◎厚生労働大臣政務官・三ツ林代議士へ表敬訪問



10月16日、第3次安倍内閣として、この度、厚生労働大臣政務官に就任されました、三ツ林裕巳代議士へ表敬訪問をさせていただきました。

厚労省内の政務官室で、自民クラブメンバーと共に、三ツ林政務官と約一時間、子育て医療政策や社会福祉政策に関して、情報交換をさせていただきました。

◎大山市長へ予算要望書提出

10月7日、自民クラブとして平成28年度予算要望書を取りまとめ、市長へ提出しました。平成28年度予算も、厳しい財政運営が強いられることが予想されていますが、来年度の予算編成に是非取り組んでいただきたい現在の課題や、市民の皆さんの声を届けてまいりました。短時間でしたが、大山市長と来年度の方針等について意見交換をしました。



◎八潮市立潮止小学校・創立130周年記念式典

11月28日、私が小学校1年生から3年生まで通った、「潮止小学校」が、昨年「創立130周年」を迎え、議会を代表し、祝辞を述べさせていただきました。

今回、ご来賓として、私が入学した当時の、木村校長先生もご出席されており、約40年経っていましたが名前を憶えて下さっており、嬉しい気持ちになりました。

校長先生は今でも、さわやかさはつらつさは健在でした。



3月議会の日程

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	2/29 本議会 開会(10時)	3/1 議案調査	2	3	4	5
6	7 議案調査	8 本会議 (総括質疑)	9 委員会 (総務文教)	10 委員会 (建設水道)	11 委員会 (福祉環境)	12
13	14 本会議 (一般質問)	15	16 本会議 (一般質問)	17 本会議 (一般質問)	18 本会議 (最終日)	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※本会議は10時開議・委員会は9時開議となります。

※日程については開会日において議決後正式に決定します。

3月21日(祝)「やしおふれあい親子健康マラソン大会」が開催されます。担当者の話では、今回で一旦終了予定となる大会とのこと。(せっかく盛り上がってきたのに残念です。)多くの皆様のご参加をお待ちしております。詳しくはホームページを。



ボランティア活動報告

被害に見舞われた地域の皆様、心より、お見舞い申し上げます。

9月10日、台風18号の影響により発生した、「関東・東北豪雨災害」
特に、茨城県常総市では、鬼怒川が決壊、越水し、市内の大半の地域が水没、甚大な被害が発生しました。
私自身、9月20日、栃木県鹿沼市での活動を皮切りに、常総市、筑西市に、「16回」ボランティア活動に入りました。
年が明けた現在、未だ多くの方が自宅に戻る事が出来ず、不安な避難生活を強いられています。今後も、被災された皆さんが、元の生活に一日も早く戻れるように、ボランティア活動を継続させていただきます。



人を救うのは人・・・
ボランティア活動で多くの方とつながりを築くことができました。

和宏のひとりごと

～「新化」から「進化」へ～



今年は元旦から晴天が続き、穏やかな日々が続きました。新春を迎え、今年一年の「目標」を掲げ、挑戦する意欲を高めた方も多かったと思います。

あるテレビ番組で、昨年、「216安打」のプロ野球新記録を樹立した「埼玉西武ライオンズ」の秋山翔吾選手が、偉業達成の一番の要因は「バットのグリップの位置を下げたこと」と話していました。

実は、秋山選手、2014年は、不調が続き、放ったヒット数は「123本」と低迷、一時は、「2軍落ち」まで経験をしました。その際に、自分の中で「何かを変えなければ・・・」と感じ、試行錯誤の上、バットのグリップの位置を下げてみたところ、自分が思い描くようなバッティングが出来るようになったとのこと。

「変化」「挑戦」ということは、言うのは簡単ですが、それを実行し、継続し続けることは容易ではないと思います。

私自身、昨年は自分自身のテーマを「新化」として、まずは「肉体改造」に取り組みました。

日々、自転車トレーニングやウォーキングを続け、お陰さまで、体重もピーク時より「17kg」減量することに成功しました。

今年は、私自身も「年男」を迎えました。

2016年は、『進化』をテーマに失敗を恐れずに、『チェンジ(change)』、『チャレンジ(challenge)』、『チャンス(chance)』の「3C」を意識して、努力してまいりますので、皆様からの「叱咤激励」をお願いいたします。

和宏

今年も時間を作り、常総市でのボランティア活動を継続しています。活動を通じて現地の人から色々とお話を聞く機会がありますが、共通して「まさか自分が」「まさかこの地域が」という言葉を耳にします。「災害」は、時間、場所を選びません。皆様、日頃からの備えを忘れずに！